

従来の山口合同ガス地区の平成30年2月料金表

1. 一般契約料金表

平成30年2月検針分適用の1立方メートル(46MJ/m<sup>3</sup>)当たりの従量料金単価は、  
平成30年1月適用の単価に対し、税込0.2808円(税抜0.26円)減算して料金を算定いたします。

(税込:消費税8%)

適用区分	料金表A 月間使用量が 0m <sup>3</sup> から25m <sup>3</sup> まで	料金表B 月間使用量が 25m <sup>3</sup> をこえ100m <sup>3</sup> まで	料金表C 月間使用量が 100m <sup>3</sup> をこえ250m <sup>3</sup> まで	料金表D 月間使用量が 250m <sup>3</sup> をこえるとき
基本料金(1か月) 〔円/月〕	841.32 (税込) 779 (税抜)	1,922.40 (税込) 1,780 (税抜)	2,122.20 (税込) 1,965 (税抜)	2,552.04 (税込) 2,363 (税抜)
従量料金単価 30/2月 (30/1月) 〔円/m <sup>3</sup> 〕	239.5980 (税込) 221.85 (税抜) (239.8788) (税込) (222.11) (税抜)	196.3548 (税込) 181.81 (税抜) (196.6356) (税込) (182.07) (税抜)	194.3568 (税込) 179.96 (税抜) (194.6376) (税込) (180.22) (税抜)	192.6396 (税込) 178.37 (税抜) (192.9204) (税込) (178.63) (税抜)

2. 標準家庭への影響額

(税込:消費税8%)

1か月のご使用量 〔m <sup>3</sup> 〕	30/2月 適用料金 (a) 〔円/月〕	30/1月 適用料金 (b) 〔円/月〕	増 減 (a)-(b) 〔円/月〕	変動率 〔%〕
21	5,871 (税込) 5,437 (税抜)	5,878 (税込) 5,443 (税抜)	-7 -6	-0.12 -0.11

※ 標準家庭の使用量21m<sup>3</sup>/月は、ご家庭1件あたりでの平均的な月間使用量実績(平成18年～平成22年の5カ年の平均)をもとに算定しています。

《ガス料金の計算式》

ガス料金=[基本料金(税抜)+使用量×従量料金単価(税抜)]+[消費税等相当額]

※[ ]内で円未満を切り捨てます。

**従来の山口合同ガス地区の原料価格・従量料金単価調整額**  
(平成30年2月調整分)

1. 原料価格変動額

(1) 基準平均原料価格

料金改定の際に基準とした原料価格

① 75,650 円/t

(2) 平均原料価格

貿易統計実績 平成29年9月から平成29年11月の平均値

	原料価格
LNG平均輸入価格(貿易統計実績値)	46,150 円/t
ブタン平均輸入価格(貿易統計実績値)	61,320 円/t
平均原料価格(LNG換算トン当たり)	② 46,660 円/t

平均原料価格=LNGの平均輸入価格×0.9749<sup>\*1</sup>+ブタンの平均輸入価格×0.0272<sup>\*2</sup>

(算定結果の10円未満の端数は四捨五入)

\*1 原料のLNG構成比率

\*2 原料のブタン構成比率に、ブタンからLNGへの換算係数を加味したもの

(3) 原料価格変動額

$$\boxed{\text{② } 46,660 \text{ 円/t}} - \boxed{\text{① } 75,650 \text{ 円/t}} = \boxed{\text{③ } -28,900 \text{ 円/t}}$$

(100円未満切捨て)

2. 従量料金単価の調整

(1) 調整額

$$\boxed{\text{③ } -28,900 \text{ 円/t}} \times \boxed{0.086} \div 100 = \boxed{\text{④ } -24.86 \text{ 円/m}^3}$$

(小数点第3位切上げ)

従量料金単価の調整額		
30/2検針分 適用の調整額 (a) [円/m <sup>3</sup> ]	30/1検針分 適用の調整額 (b) [円/m <sup>3</sup> ]	増 減 (a) - (b) [円/m <sup>3</sup> ]
-24.86 (税抜)	-24.60 (税抜)	-0.26 (税抜)

↓  
-0.2808 (税込)